

2001年第6週報告分

- 発生動向総覧 / 調査票通信
- 全数届出患者数一覧表
- 定点報告疾患集計表
- 年齢階級別累計表
- 保健所別累計表
- 疾病別グラフ
- 感染症トピックス
《流行性耳下腺炎・感染性胃腸炎》

東京都結核・感染症発生動向調査企画委員会

事務局:東京都立衛生研究所疫学情報室

電話:03-3363-3213(直通)

FAX:03-5332-7365

E-mail: idsc@tokyo-eiken.go.jp

アドレス: www.tokyo-eiken.go.jp/IDSC/



（全数情報）

細菌性赤痢 1 件はバリ島での感染が推定されており、菌型はソンネである。

アメーバ赤痢 1 件は同性間性的接触による感染が推定されている。22 歳男性で、発熱・季肋部痛、肝膿瘍がみられた。なお、赤痢アメーバによる疾病には腸管アメーバ症と腸管外アメーバ症があるが、腸管外アメーバ症の中では肝膿瘍が最も高頻度にみられる。

急性ウイルス性肝炎は 6 件届出された。A 型肝炎 1 件は経口感染（推定感染地：国内）、B 型肝炎 5 件は異性間性的接触 4 件（推定感染地：国内 2 件、インドネシア 1 件、ザンビア 1 件）、同性間性的接触 1 件（推定感染地：国内）だった。

クリプトスポリジウム症 1 件は下痢症状のある 33 歳男性であり、糞便の鏡検により診断された。国内での感染が推定されているが、感染経路は不明である。同居者などに同様の症状の者はいない。

ジアルジア症 2 件はいずれも経口感染（推定感染地：国内 1 件、マレーシア 1 件）である。

マラリア 1 件は卵形マラリア（推定感染地：アフリカ）だった。

（推定される感染地域は、医師の届出によるものです。）

（定点情報）

- ・インフルエンザの報告数は増加しつつあるが昨年同期と比べて 8 分の 1 程度である。
- ・感染性胃腸炎、A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎、伝染性紅斑、流行性耳下腺炎、流行性角結膜炎の報告が多い。

（病原体情報）

- ・上気道炎患者の咽頭拭い液から検出された溶血性レンサ球菌は G 群であった。
- ・検査定点医療機関から搬入された上気道炎などの患者に由来する MRSA 6 株中の 4 株はコアグラ - ゼ II 型であった。
- ・インフルエンザ、上・下気道炎の患者 12 名の咽頭拭い液の 2 件からインフルエンザウイルス（A 香港型）、1 件からアデノウイルス 5 型が分離され、2 件からインフルエンザウイルス（B 型）、1 件から RS ウイルスの遺伝子がそれぞれ検出されている。
- ・第 5 週に引き続き今週も 3 歳児のインフルエンザ脳症の報告があり、その咽頭拭い液からインフルエンザウイルス（A 香港型）が検出されている。
- ・胃腸炎の患者検体 3 件中の 2 件からアデノウイルス 1 型と 4 型が分離され、残りの 1 件からはアデノウイルスと SRSV の遺伝子が同時に検出された。
- ・腸重積の 1 歳児からポリオウイルス 1 型が分離された。
- ・川崎病の患者 2 名の検体からそれぞれアデノウイルスとエンテロウイルスが検出されている。
- ・感染性胃腸炎集団発生 20 事例の検体 151 件のうち 16 事例 68 件から SRSV が検出されている。

- ・今週多摩支所には感染性胃腸炎の検体搬入はなかった。
- ・多摩支所に搬入されたインフルエンザ疑い患者の咽頭拭い液 24 件のうち 5 件からインフルエンザウイルスが検出された。内訳は B 型 3 件（武蔵村山：5 歳女、65 歳女、八王子 6 歳男）、A 香港型 2 件（立川：27 歳男、29 歳男）である。

（その他の情報）

- ・上・下気道炎、胃腸炎、髄膜炎・脳症などの検体が搬入されている。
 - ・今シーズン都立衛生研究所の検査でインフルエンザウイルスが検出された検体は感染症発生動向調査検査定点医療機関由来検体からは 21 件で、その内訳は A ソ連型（A H 1）1 件、A 香港型（A H 3）11 件、B 型 9 件である。
- 一方、学校集団発生由来検体からは 37 件検出されており、その内訳は A ソ連型（A H 1）20 件、A 香港型（A H 3）5 件、B 型 12 件である。

調査票通信

定点医療機関からのコメントを掲載

台東区

- ・週中より発熱症例増加。迅速検査にてインフルエンザと同定は 5 名のみでした（ディレクティージェン F l u A およびインフルエンザ O I A を使用）。
- ・3 歳男児、ディレクティージェン F l u A 陽性。

品川区

インフルエンザの症例は基本的に臨床診断、数名のみ診断キット（インフルエンザ O I A）で確認しています。

感染性胃腸炎も割に軽症ではありますが家族全員にかかったりしています。

大田区

中学校で 4 人の生徒が麻疹にかかったとの情報があり、そのうち 1 人の生徒の妹が当院に来院し、麻疹と判明した。

練馬区

近所の小学 3 年生の学級閉鎖は主に B 型インフルエンザ（迅速診断キットのディレクティージェン F l u A およびインフルエンザ O I A により判定）と思われます。

清瀬市

4 歳女児下痢が続くため糞便培養を行った結果、サルモネラ O 9 が検出された。

全数届出患者数一覧表 2001年6週

分類	疾病名	東京都分(報告週)				全国分(診断週)
		3週	4週	5週	6週	6週
一類	エボラ出血熱					
	クリミア・コンゴ出血熱					
	ペスト					
	マ-ルブルグ病					
	ラッサ熱					
二類	コレラ					1
	細菌性赤痢	2	1		1	10
	腸チフス					2
	パラチフス					
	急性灰白髄炎					
	ジフテリア					
三類	腸管出血性大腸菌感染症	1	1	1		6
四類 (全数届出)	アメ-バ赤痢		1	1	1	3
	エキノコックス症					
	黄熱					
	オウム病		2			
	回歸熱					
	ウイルス性肝炎(急性肝炎)			4	6	9
	Q熱					
	狂犬病					
	クリプトスポリジウム症				1	
	クロイツフェルト・ヤコブ病					
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症					
	後天性免疫不全症候群	2	8	5	8	7
	コクシジオイデス症					
	ジアルジア症		1	2	2	4
	腎症候性出血熱					
	髄膜炎菌性髄膜炎					
	先天性風疹症候群					
	炭疽					
	ツツガムシ病	1				2
	デング熱	1		1		1
	日本紅斑熱					
	日本脳炎					
	乳児ボツリヌス症					
	梅毒	1	4	2	2	5
	破傷風					
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症					
	ハンタウイルス肺症候群					
Bウイルス病						
ブルセラ症						
発疹チフス						
マラリア		1		1		
ライム病						
レジオネラ症			1		1	

東京都分の集計は、医師からの追加届出により増加することがあります(2001/02/14集計)

定点報告疾病集計表（男女別）

疾病名	性	2001年 週				累計
		3	4	5	6	
インフルエンザ	男	42	73	115	182	412
	女	31	57	80	138	306
咽頭結膜熱	男	4	3	6		13
	女	3	2	4	1	10
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	男	37	26	51	54	168
	女	26	38	51	47	162
感染性胃腸炎	男	542	543	598	628	2311
	女	584	629	569	630	2412
水痘	男	92	82	84	90	348
	女	78	80	77	80	315
手足口病	男	7	4	6	3	20
	女	5	2	5	3	15
伝染性紅斑	男	42	41	41	38	162
	女	27	40	39	26	132
突発性発疹	男	41	38	28	25	132
	女	27	32	35	32	126
百日咳	男					
	女		1			1
風疹	男			2		2
	女	2	1	1		4
ヘルパンギーナ	男	2	1	2	2	7
	女	3	3	3	3	12
麻疹(成人以外)	男	4	7	3	6	20
	女	4	8	5	6	23
流行性耳下腺炎	男	69	48	75	58	250
	女	53	41	73	55	221
不明発疹症	男	10	2	6	3	21
	女	6	1	2	4	13
MCLS	男	2	2	1		5
	女		1	1		2
急性出血性結膜炎	男					
	女					
流行性角結膜炎	男	11	10	7	19	47
	女	4	11	26	7	48
急性脳炎（日本脳炎を除く）	男					
	女					
細菌性髄膜炎	男					
	女					
無菌性髄膜炎	男	1				1
	女				1	1
マイコプラズマ肺炎	男					
	女					
クラミジア肺炎（オウム病は除く）	男					
	女					
成人麻疹	男					
	女			1		1

「累計」欄は、当週を含む過去4週分の合計を示したものです。空欄は、報告がなかったことを示しています。

年齢階級別累計表(2001年6週)

	インフル エンザ	咽頭 結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発疹	百日咳	風疹	ヘルパン ギーナ	麻疹 (成人以外)	流行性 耳下腺炎	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎	不明 発疹症	MCLS
~6ヶ月			1	9	1		2	9							1		
~1歳	4		1	34	10			34				1				3	
1歳	9		3	90	23			9				2	7		1		
2歳	18		3	77	33	2	6	2			1	1	7				
3歳	20		13	96	32	1	8				1	2	15		1	2	
4歳	15	1	14	113	24	1	9						15				
5歳	18		20	99	18	1	10						17		1	1	
6歳	9		17	100	13	1	13				1	2	14		2		
7歳	10		3	66	5		3	1					9				
8歳	20		10	74	2		5	2					6		1		
9歳	13		3	50	4		2					1	5				
10~14歳	33		7	129	3		5					3	9		1	1	
15~19歳	32		2	61	1						1		2		1		
20~29歳	48		4	260	1		1				1		7		4		
30~39歳	44														1		
40~49歳	14														1		
50~59歳	5														3		
60~69歳	7														2		
70~79歳	1														6		
80歳以上																	
合計	320	1	101	1258	170	6	64	57	0	0	5	12	113	0	26	7	0
先週比	125	-9	-1	91	9	-5	-16	-6	0	-3	0	4	-35	0	-7	-1	-2

注：小児科定点把握対照の疾病のうち、「20~29歳」は「20歳以上」と読み替える。

眼科疾患のうち、「70~79歳」は「70歳以上」と読み替える。

保健所別累計表 (2001年6週)

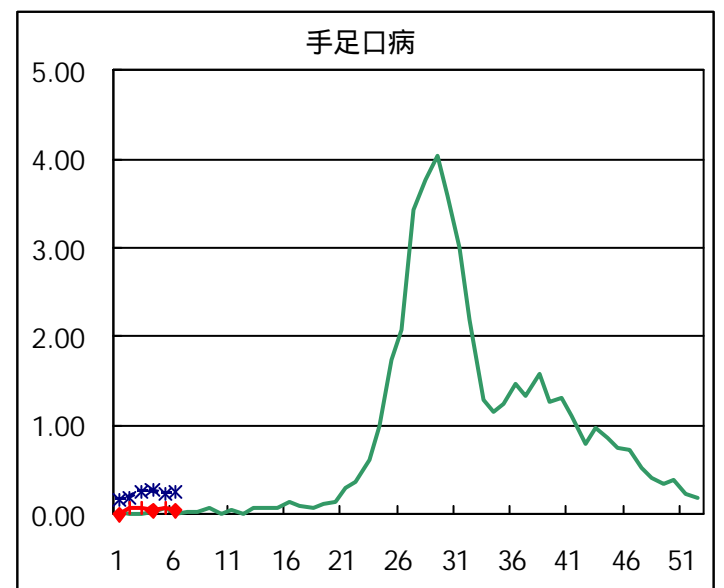
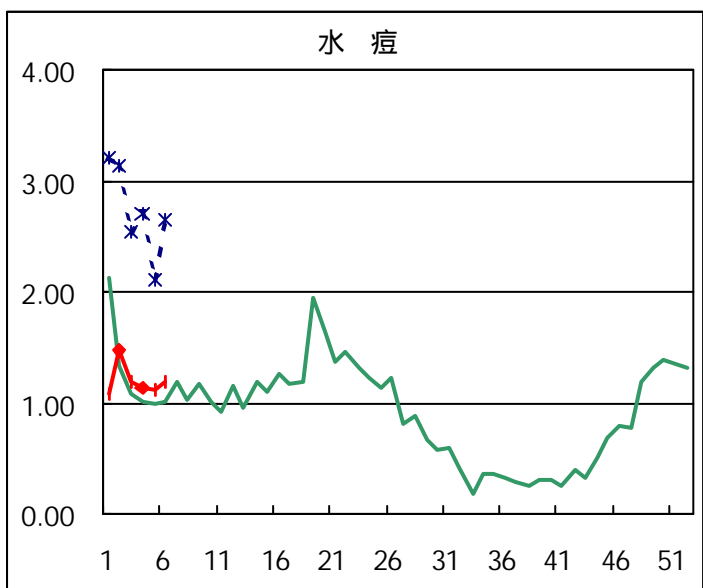
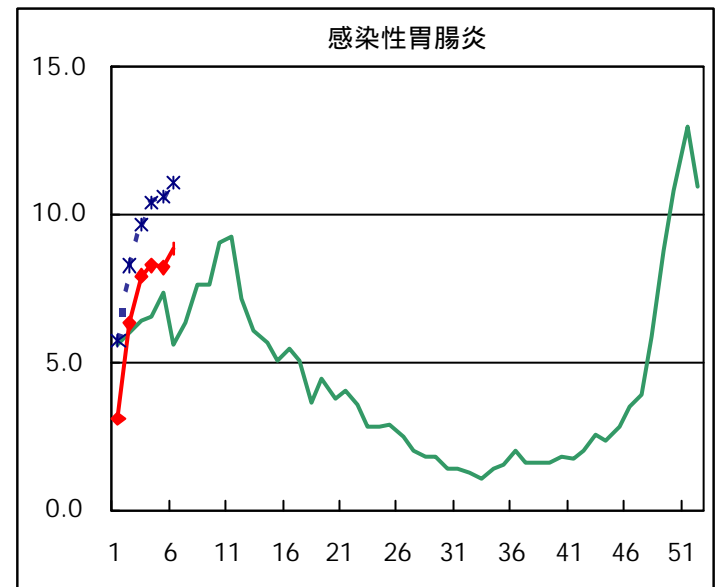
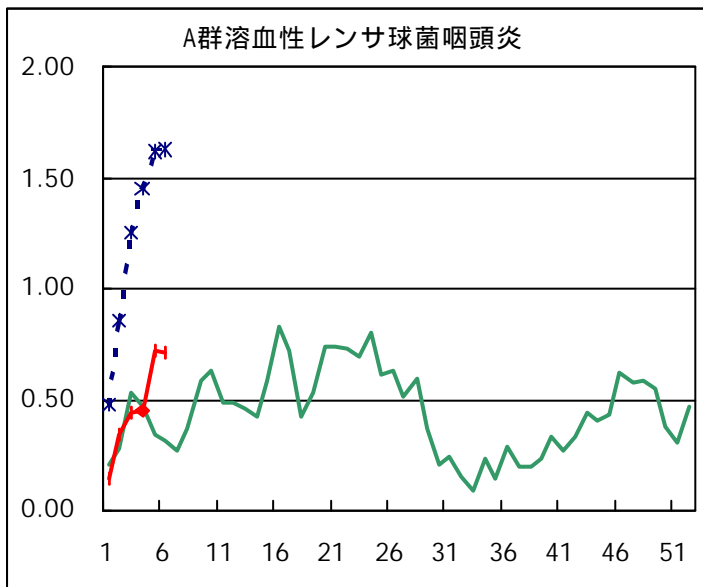
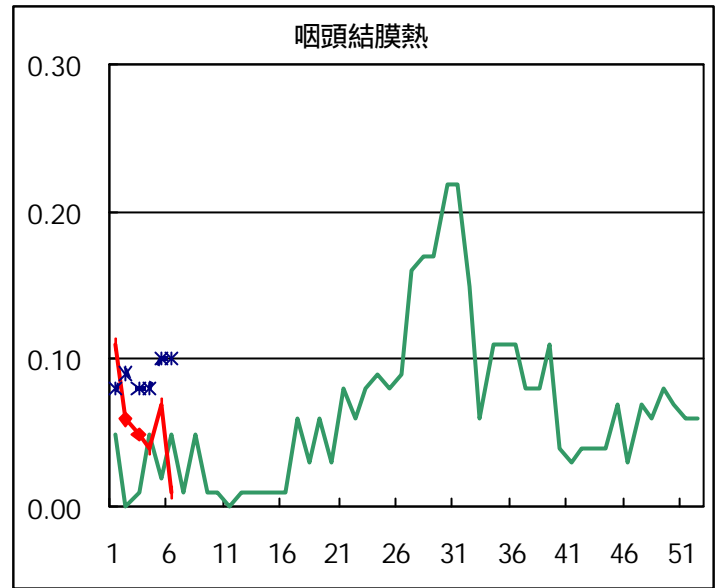
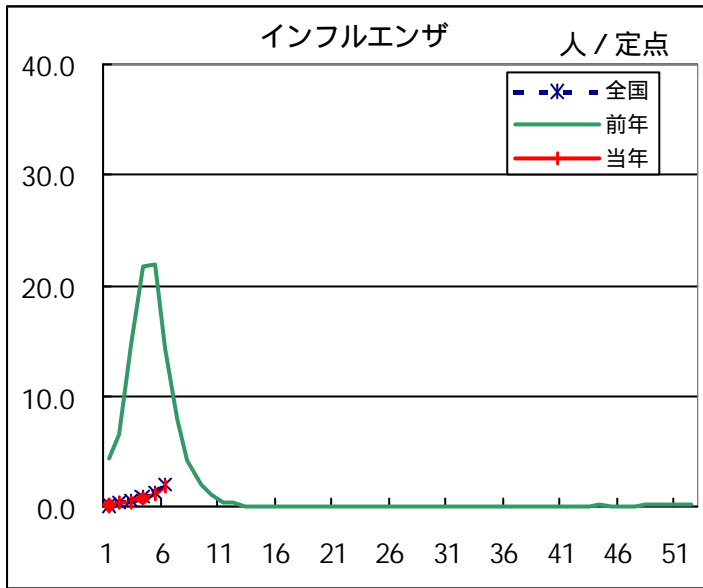
	インフル エンザ	咽頭 結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発疹	百日咳	風疹	ヘルパン ギーナ	麻疹 (成人以外)	流行性 耳下腺炎	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎	不明 発疹症	MCLS	合計
中央				6	7			1										14
日本橋				1														1
世田谷	12	1	3	106	6	2	6	2					4					142
渋谷区	13			53		1		1					2					70
池袋	9			1			1				2				1			14
長崎				9	1													10
荒川	7		2	18			1	2					4		1			35
足立	6		5	100	12			1					5					129
葛飾	2		10	20	11	1	8	3				1	7					63
江戸川			1	36	13		1	1				1						53
小岩	3			6	3		1						2			1		16
台東	8		5	47	14		8	2					8					92
目黒区	1		1	24	6		1						2			1		36
大田区	6		7	57	5		5	1				1	10		1	2		95
杉並	11		2	23	3		3						3					45
北区	25		3	18	18		1	5					5					75
板橋区	14		1	24	1								1					41
みなと	1		2	12	3			1					4					23
中野区	10		3	80	9		1	2										105
新宿区	13			57	3		1	3					5		23			105
品川区	11		9	59	2		5	5					1			1		93
千代田	9			12			1						1					23
練馬区	26		8	27	6		3	4					6					80
文京	7		1	40	1		1	1					1					52
墨田区	5		1	24	4			1					2					37
江東区	3		12	32	4	1	2	3					5					62

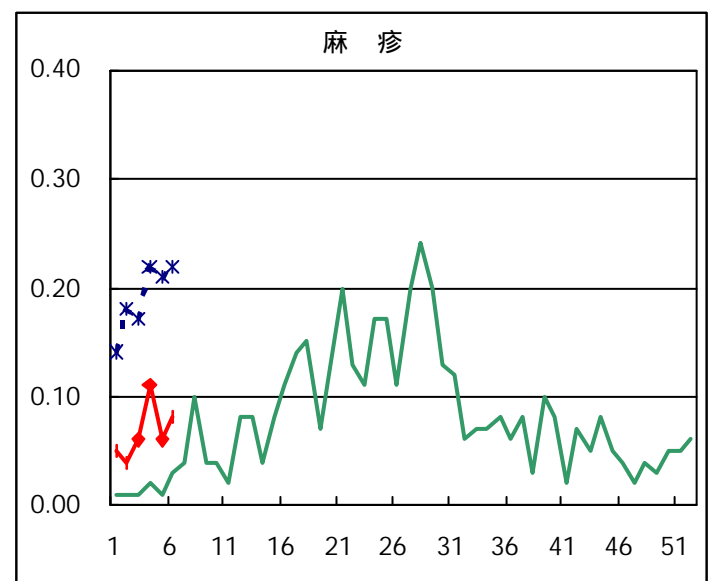
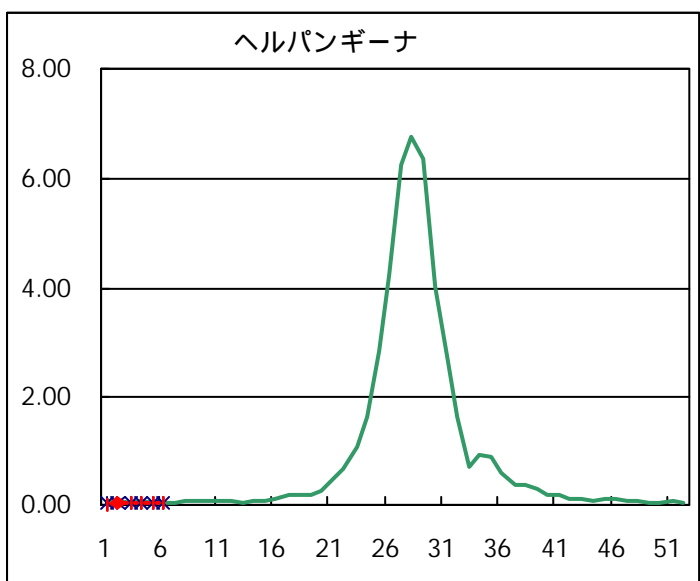
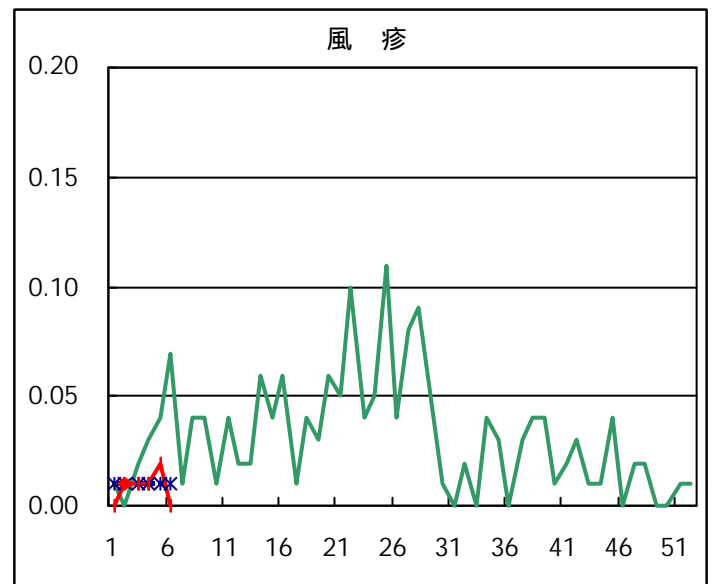
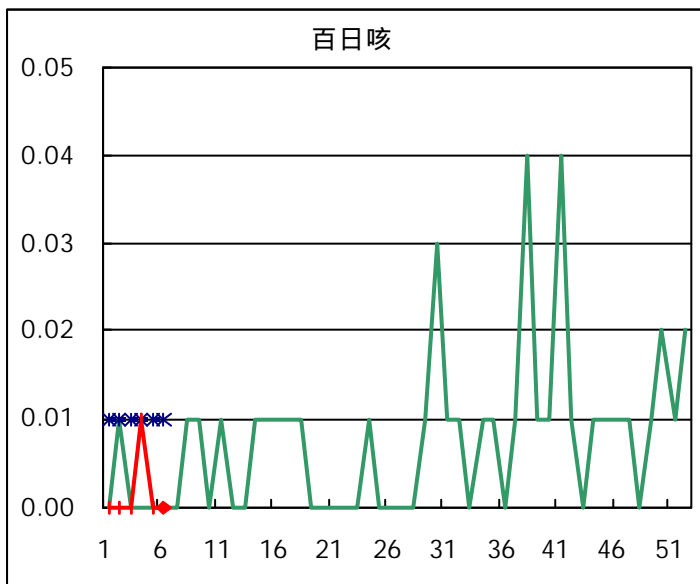
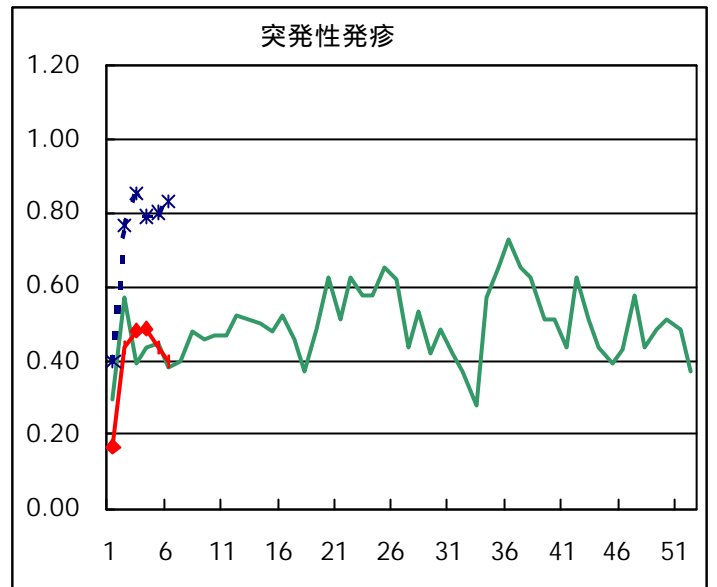
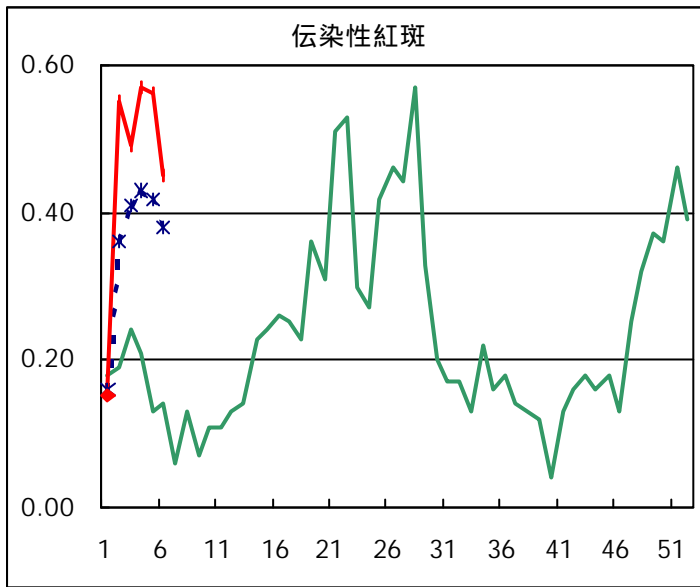
保健所別累計表 (2001年6週)

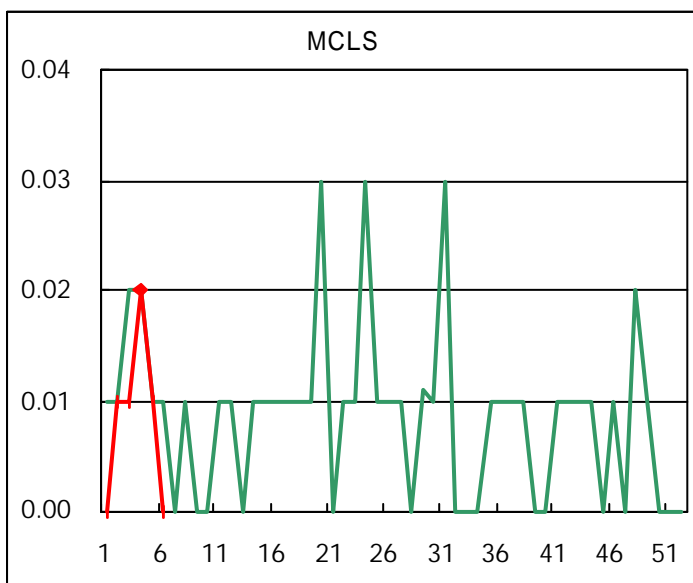
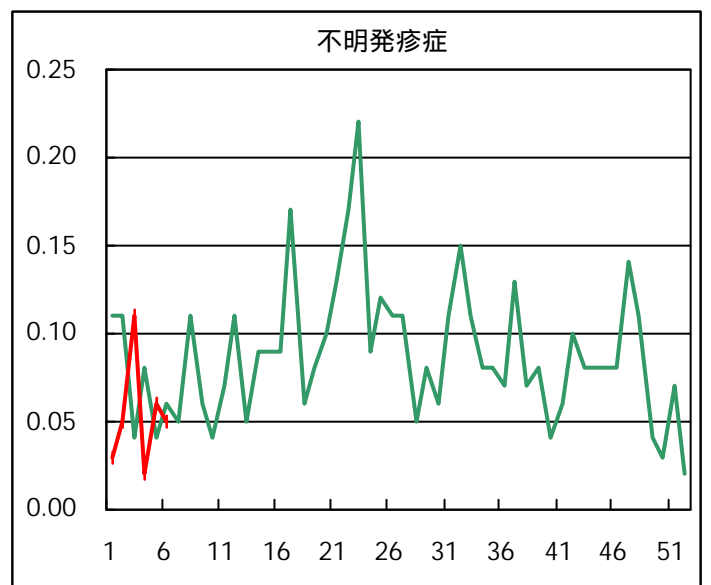
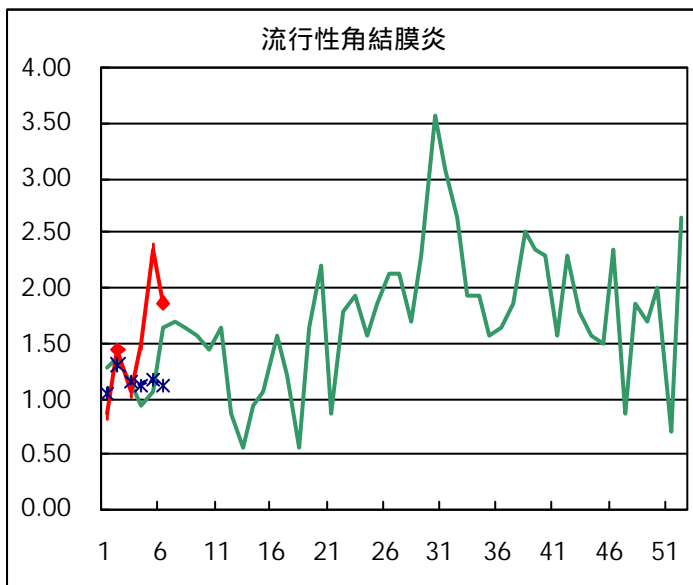
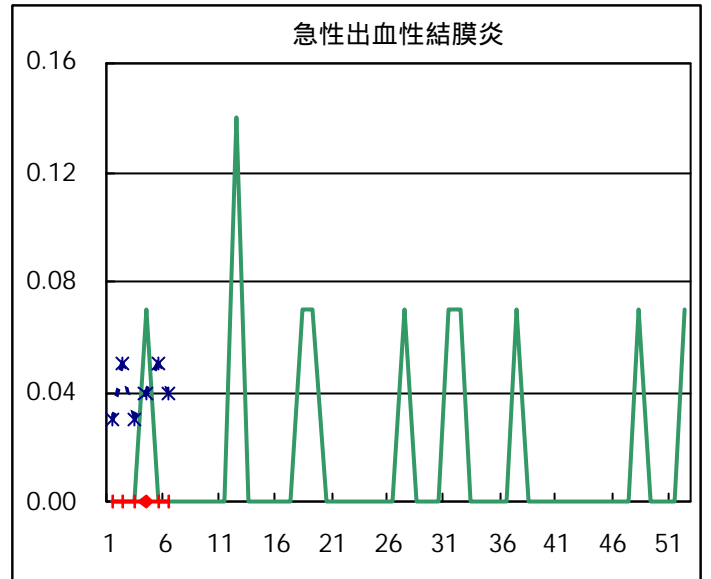
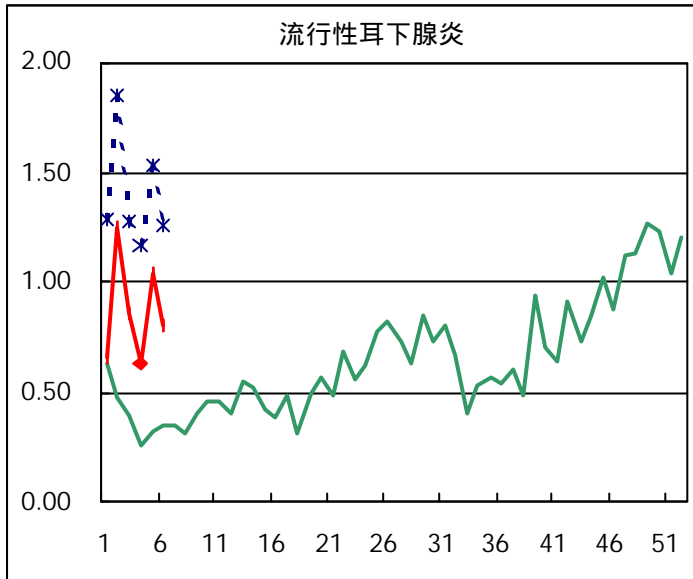
	インフル エンザ	咽頭 結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発疹	百日咳	風疹	ヘルパン ギーナ	麻疹 (成人以外)	流行性 耳下腺炎	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎	不明 発疹症	MCLS	合計
八王子	18		3	19	1			4					1					46
町田	16		4	37	4		1						1			1		64
島しょ	1												1					2
多摩川	5		1	58	5			2				2						73
秋川	26		10	42	4		2	5				1	5			1		96
南多摩	10		1	48	2		1	3			2		8					75
多摩立川	4			32	2	1	1					3	3					46
村山大和	10			15	6			1				1	5					38
府中小金井			1	11	1		3					1	2					19
狛江調布	6		1	35	4		3	1			1	1	2					54
三鷹武蔵野	6		3	11	3		1	1					6					31
多摩小平	5			25	2		1	1										34
多摩東村山	11		1	33	4		1						1					51

東京都合計	320	1	101	1258	170	6	64	57	-	-	5	12	113	-	26	7	-	2140
定点当り報告数	1.80	0.01	0.71	8.86	1.20	0.04	0.45	0.40	-	-	0.04	0.08	0.80	-	1.86	0.05	-	

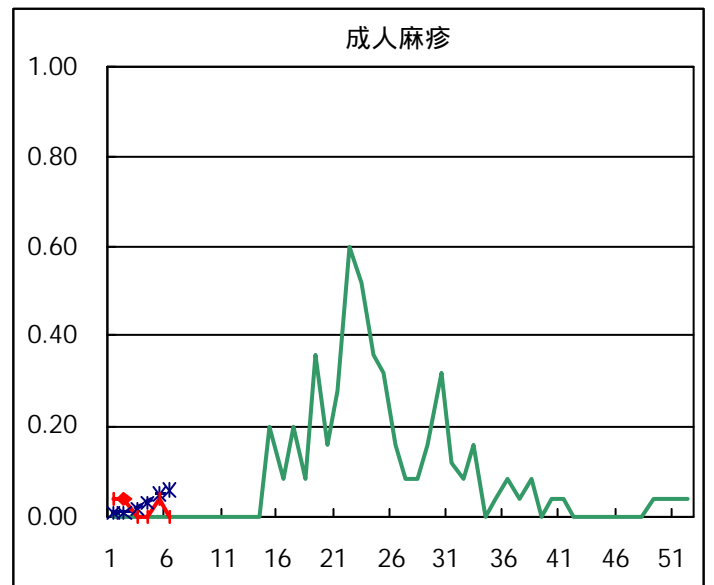
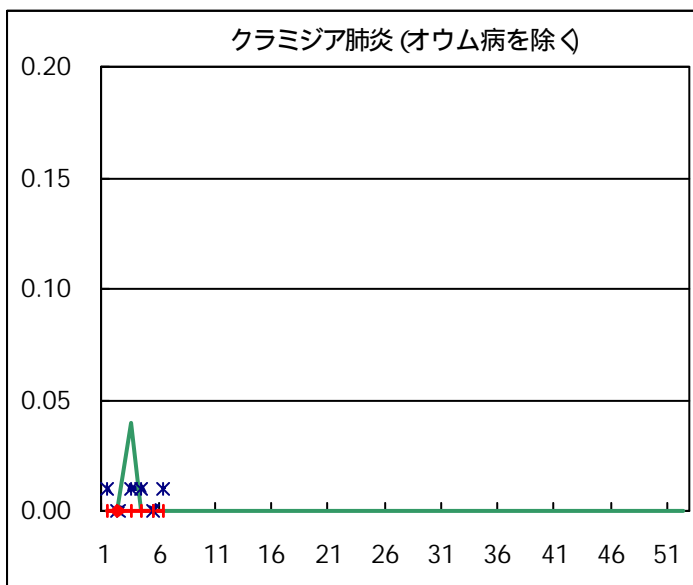
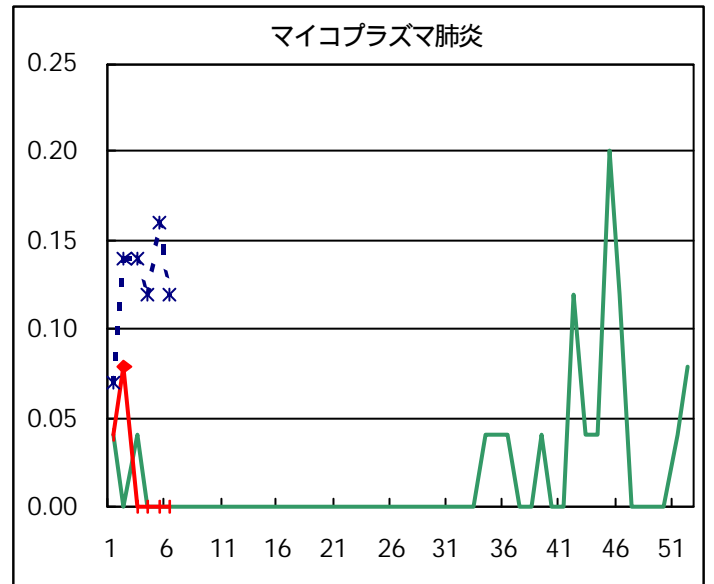
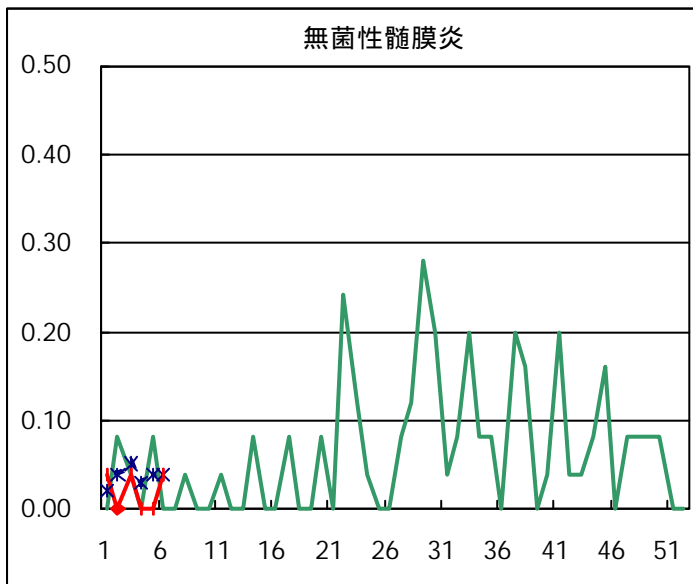
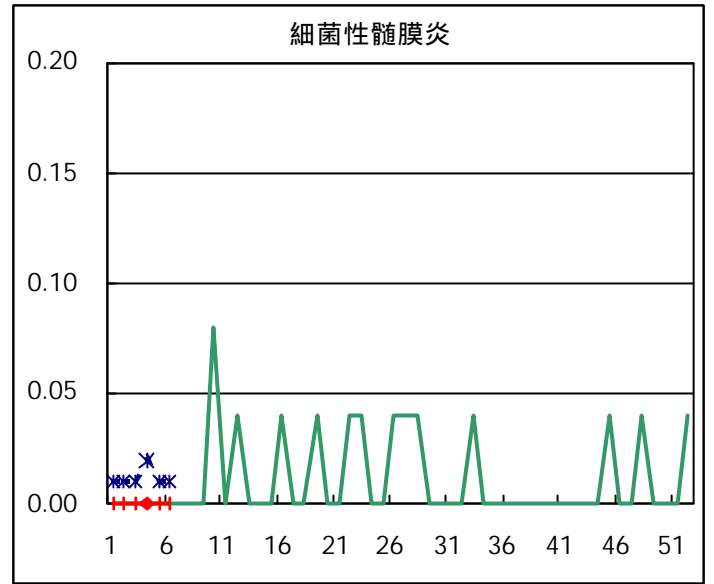
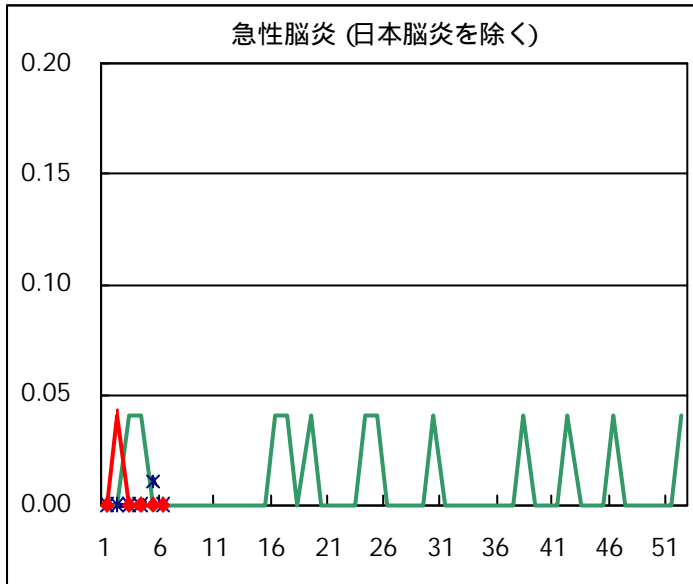
疾病別グラフ







疾病別の定点医療機関数	
疾病	医療機関数
インフルエンザ	178
急性出血性結膜炎	14
流行性角結膜炎	
急性脳炎	25
細菌性髄膜炎	
無菌性髄膜炎	
マイコプラズマ肺炎	
クラミジア肺炎	
成人麻疹	142
上記を除く疾病	



感染症トピックス

流行性耳下腺炎

年次別推移グラフ（図1）にも示されるように流行性耳下腺炎は数年おきに大きな流行を繰り返します。2000年から2001年にかけても報告数の増加傾向が見られます。

感染性胃腸炎

昨冬季から昨春にかけて感染性胃腸炎が大流行しましたが、今冬季も年明け後報告数が増加しています（図2）。

図1 . 流行性耳下腺炎の年次別、年齢階級別および地域別患者発生数推移 — 東京都 — 全国

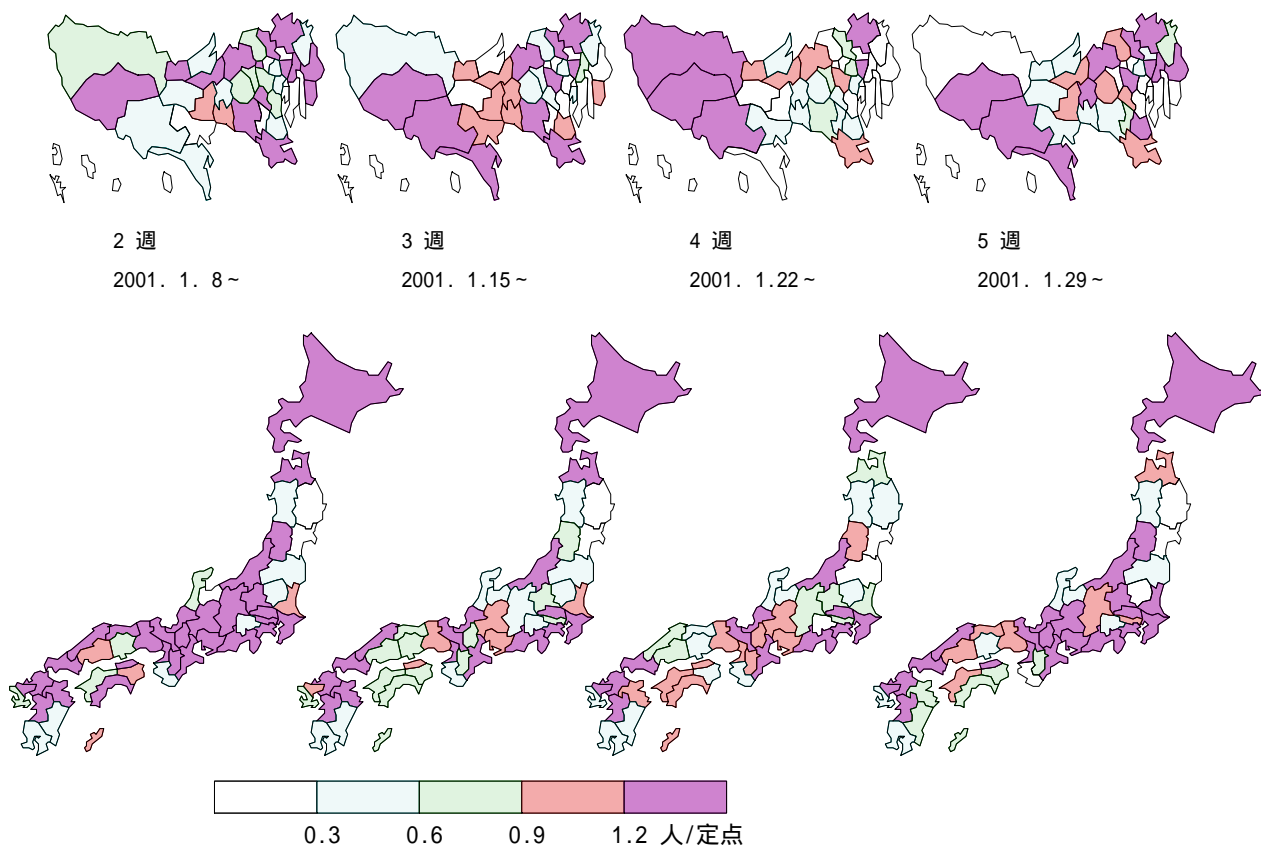
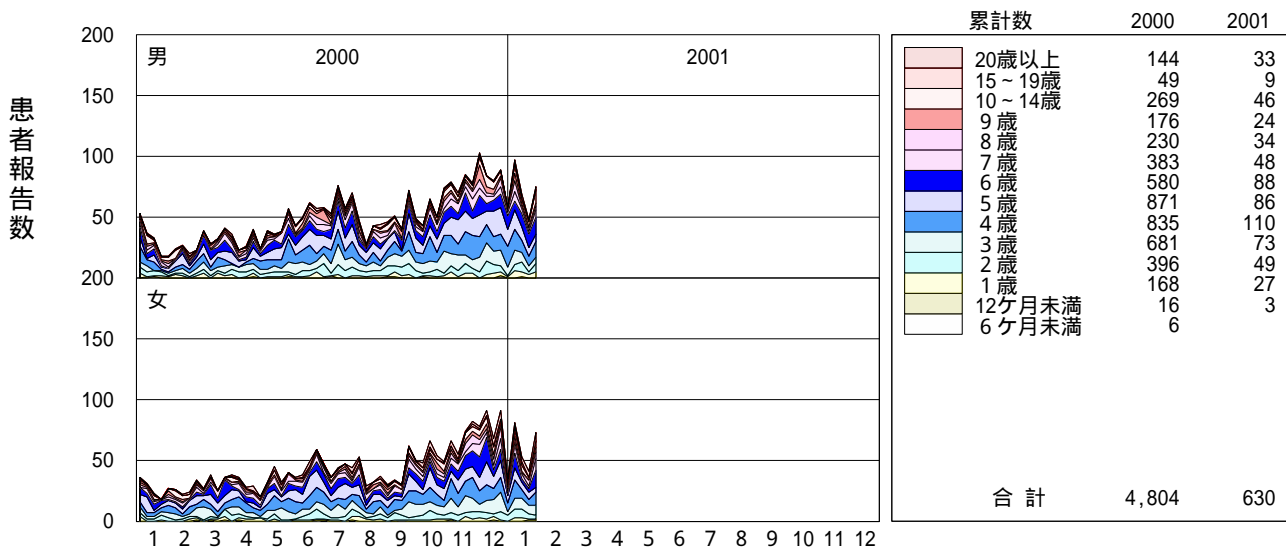
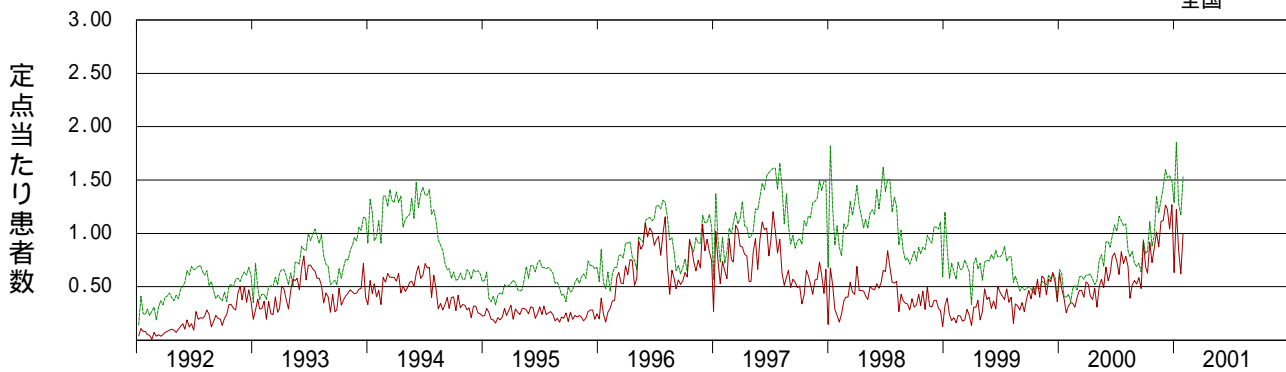


図2. 感染性胃腸炎の年次別、年齢階級別および地域別患者発生数推移

— 東京都
— 全国

